



腎臓内科

施設認定

日本腎臓学会研修施設（指導医：2名）

日本透析医学会認定施設（指導医：2名）

概要・特徴

- ・当科は腎疾患の入院および外来診療、検査、血液透析療法を主体に診療を行っている。
- ・慢性腎臓病（CKD）、主に慢性糸球体腎炎などの診断を目的とした腎生検を施行し、保存期腎不全（CKDステージ3～5）に対して薬物療法に加え、食事療法の指導を積極的に行っている。
- ・血液透析に関しては、維持透析患者の管理の他、維持透析導入前後の管理、他院での維持透析患者様が手術やその他の治療、検査のため入院される場合にも対応している。
- ・特に循環器内科とは連携して、維持透析患者における心臓カテーテル検査やカテーテル治療に対して積極的に対応している。
- ・血液透析以外の血液浄化療法としては、LDL アフェレーシス、血漿交換療法や消化器内科と連携して炎症性腸疾患に対する顆粒球除去療法や、難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法にも対応している。

研修内容

- ①慢性糸球体腎炎、急性腎炎、急速進行性腎炎、ネフローゼ症候群などの腎生検を含む診断と治療
- ②慢性腎臓病の薬物療法・食事療法
- ③急性腎障害や慢性腎不全の急性増悪に対する急性血液浄化療法
- ④血液透析の計画導入と維持透析管理

カンファレンス等

- ・連日医師間での症例検討
- ・週1回（水曜日午後）に病棟カンファレンスを行っている。
- ・週1回（木曜日午後）に透析カンファレンスを行っている。
- ・月2回 勉強会を行い最新の知見を得るようにしている。
- ・学会参加・発表を積極的に行っている。